

## 狩猟機器のハンテック、捕獲時に通知するIoTセンサー

2017年12月4日 0:00 [有料会員限定]

狩猟関連機器ベンチャーのハンテック（東京・目黒、川崎亘社長）はあらゆるモノがネットにつながる「IoT」技術を使って野生鳥獣の捕獲をスマートフォンなどに通知するセンサー「スマートトラップ」の販売を始めた。シカやイノシシなどの鳥獣被害が深刻な地方自治体や狩猟者の受注を目指す。

ワイヤを使って足を縛り付ける仕組みの市販の「くくりわな」に加速度センサーを取り付け、獲物がかかるとメールで通知する。見回りの負担を軽減する。

本体価格は7万9800円（税別）で、親機と子機5つのセット。半径100メートル以内であれば5つのわなが管理できる。月額2980円（同）のシステム利用料がかかる。



鳥獣被害が深刻な自治体に販売する

### Myニュース すべての最新記事

読書で学ぶ日本の戦後

住商、米・イスラエルに拠点 スタートアップ投資

賃上げ+革新投資なら 法人税、実質負担20%に下げ

**狩猟機器のハンテック、捕獲時に通知するIoTセンサー**

スタートアップ人材争奪戦 技術者確保に知恵絞る

ハウスマート マンション購入か賃貸をAIが指南

スパークス、米国に駐在員事務所設立

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

**NIKKEI** No reproduction without permission.